

三菱ふそう 47案件の対応進捗状況報告

三菱ふそうが市場措置を予定していました47案件の進捗状況等につき、下記の通りご報告申し上げます。

本日リコール届出4件、サービスキャンペーン1件を済ませ、47案件すべての対応を完了いたしました。

最終的に47案件は当初予定の「リコール届出43件、改善対策4件」から「リコール届出42件、改善対策1件、サービスキャンペーン1件、他案件と統合等3件」となりました。

この度の弊社の品質問題では、お客様のみならず社会の皆様にも多大なるご迷惑をお掛けしましたことについて改めてお詫び申し上げます。

弊社ではリコールおよび改善対策の早急な作業完了を目指し、一丸となり全力で取り組んでまいります。

記

I. 今週の定例報告事項

1. 47案件のリコール等届出状況

- ・[資料1]をご参照下さい。
- ・本日以下4件のリコール届出と1件のサービスキャンペーンを済ませ、47案件すべての対応を完了いたしました。

<47案件> (括弧内は届出番号)

No.5 (1287) フロントサスペンションボールジョイント磨耗

No.6 (1286) タイロッドエンドボールジョイント磨耗

No.11 (1290) フロント独懸用アームシャフト亀裂

No.16 (1289) リアアクスルチューブ破損

<サービスキャンペーン>

No.45 AT車駐車時の注意喚起

本日の届出案件対象台数(生産台数[^]-s)

	5	6	11	16	10/27日 届出合計	45 サービス キャンペーン
リコール届出番号	1287	1286	1290	1289		
大型トラック				21,062	21,062	
中型トラック					0	
小型トラック	104,065	251,720			355,785	23,575
大型バス			9,103		9,103	
中型バス			908		908	
小型バス	2,767	6,695			9,462	6,741
計	106,832	258,415	10,011	21,062	396,320	30,316

注:機種ごとの合計数はラップ車両台数を考慮しておりません。(単純加算)

2. 届出済み市場措置の状況(10月23日現在)

- ・ [資料2]をご参照下さい。

3. 6/14以降の事故案件について

- ・ [資料3]をご参照下さい。
- ・ 10月19日に発生しました静岡県浜松市東名高速道路上りでの事故に関して本日(10月27日)にスクランブル調査を実施致しました。

4. 47案件のまとめについて

- ・ [資料4]をご参照下さい。
- ・ 本日47案件につきまして、リコールを42件、改善対策1件の届出を完了いたしました。生産期間は1974年から2004年にかけての30年間、対象車種は大型・中型・小型のトラックおよびバスの全9車種となりました。また、重複を除いた生産台数は約143万台、登録台数は約91万7千台となりました。弊社では、該当車両のリコール作業の完了に全力を尽くし、道路交通の安全確保を最優先課題として取り組めます。

・特記事項

1. リコール作業推進のための取り組み

- ・ [資料5]をご参照下さい。
- ・ リコール作業優先の案件
先週、緊急性の高い9件を報告し、リコール作業を最優先で取り組むことを発表しました。本日新たに、届出の「No.11 大型バスフロント独懸用アームシャフト不具合」と7月21日届出「No.23 ハイドロリックブースターへのエアの混入」の2件を追加して計11件を緊急性の高い項目と致します。
また、10月20日の会見でも一部申し上げましたとおり、以下の通り従来から取り組んでいる
- ・ 販売会社のメカニックを10月中旬から11月にかけて、販売協力店・三菱ふそう本体などから計約1100名の増員を図り、5000名体制にする
- ・ バスに関する専任要員として約100名体制とし、内販売会社には78名を10月18日から段階的に派遣
- ・ 7月より大型車フロントハブドラムをタイから(3000個)調達、11月から韓国でのリコール対策部品生産。
- ・ 5月以降、川崎工場内でハブ・クラッチハウジング関係の9ラインを増設
- ・ 5月以降、物流部門でリコール専門要員として100名増員、保管倉庫12000㎡確保

などに加えて、今回新たに川崎・大江の弊社工場、及び関連会社の富山工場で敷地の一部を販売会社に貸与し、整備工場としてリコール改修作業の実施を行なうことを検討しております。

2. 過去の品質問題に係わる拡大調査について

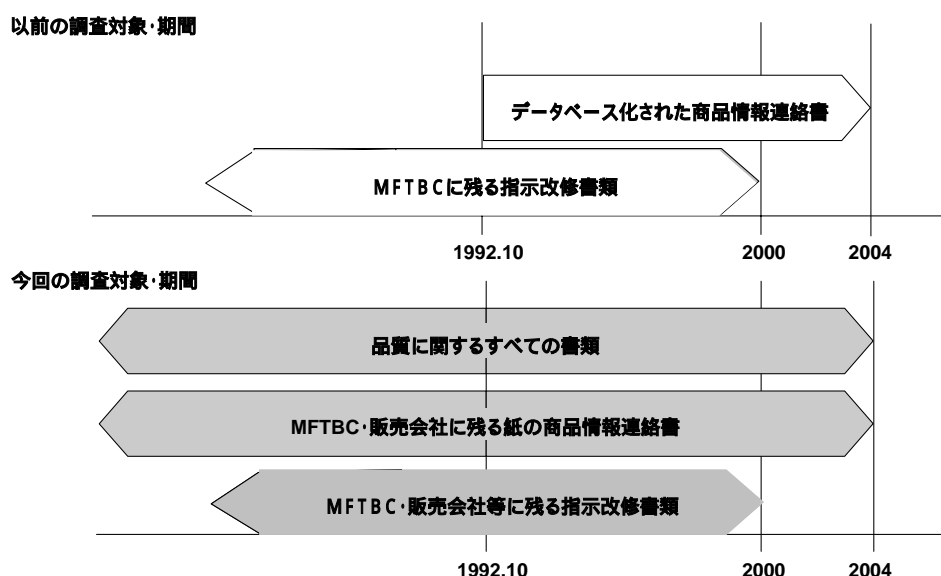
(1) 今般の品質問題における拡大調査の目的

私たちは「安全第一」の指針を常に掲げてクリーンアップを進めております。それはできる限り早く技術的解決策を解明し、実際に対策を実施し少しでも早く安心していただけることを目指しています。

その過程の中で、今回、過去の品質問題を解決することが社会の皆様信頼される1つであり、そこで過去の品質問題の拡大調査を行うことに致しました。対象は弊社保管のデータに加え、販売会社、関連会社のすべての情報源としました。そして過去の不具合を1992年以前について資料がある限りさかのぼり調査し、膿を出し切り切ることとしました。

(2) 調査範囲

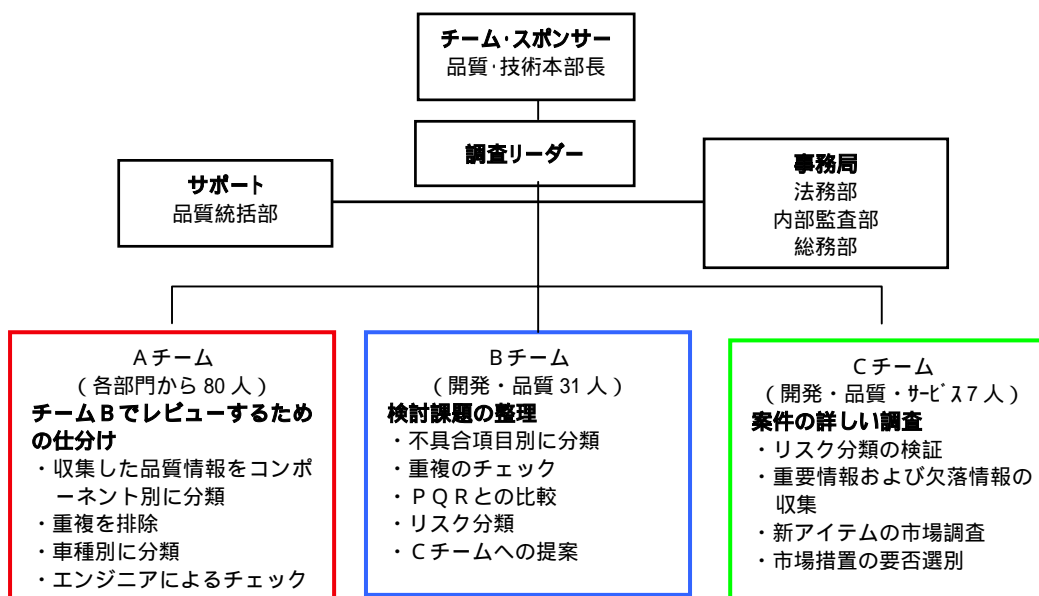
今まで調査した1992年以前にさかのぼり、販社で保管されていた過去の販社宛技術レター、公簡、議事録等の回収書類とあわせ、弊社内および販売会社で保管されていた商品情報連絡書等を情報源として調査を実施します。調査対象はダンボール箱約130箱、約21万枚に



なる見込みです。

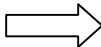


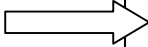
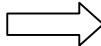
(3) 調査体制

品質・技術本部長を責任者として調査リーダーを中心にAチーム（仕分け）Bチーム（検討課題の整理）Cチーム（調査と検証）の3チームを組織しました。各々役割を明確にし、次のチームに責任を持って引き渡すとともに、チェックを入れることで精度の向上を狙います。全部門延べ約1500名の社員（販社・関連会社応援者含む）が調査にあたる予定です。



(4) 調査期間

包括的な調査を確実にするため、約2ヶ月間かけて調査を行う予定です。10月中旬より準備を開始し10月26日よりAチーム、Bチーム、Cチームと各々の目標をクリアにしながら、確実に次のチームに繋げ、最終的には年内を目処に報告したいと考えております。

	10月	11月	12月
・品質情報の収集			
・品質情報の仕分けと分類(A)			
・検討課題の整理(B)			
・案件の詳しい調査(C)			
・まとめ/報告			

以上

47案件一覧

リコール一覧

三菱ふそうトラック・バス株式会社

1:届出時点の台数(但し、1クラッチハウジング破損は8月末の台数)
2:本件はNo14(1209)の物損と同一
3:No31(1224)の内数

太枠部分は前回発表時からの変更箇所となります。

No. (届出No.)	項目	区分	車種	生産期間	台数		不具合件数				届出日	不具合内容
					生産台数	登録台数 ¹	人身	物損	火災			
1 (1092)	クラッチハウジング破損	大ト	ザ・グレート、 スーパーグレート	83/6～99/4	168,002	71,876	3	15	3	5/26	大型トラックのエンジンと変速機(トランスミッション)の結合部(クラッチハウジング)の剛性が不足しているものがあり、また、トランスミッションメーンシャフト後部のスプリング部と継ぎ手(アブットフランジ)の噛み合い部分の隙間が不適切なため、当該隙間が経年変化などで増大すると、高速走行時の駆動系振動が大きくなり、クラッチハウジングに亀裂が生じるものがある。また、クラッチハウジングに錆進時の傷などがある場合、この亀裂の発生が早まる可能性がある。このため、そのままの状態で使用続けると亀裂が進行し、最悪の場合、クラッチハウジングが破断してトランスミッション又はプロペラシャフトが脱落、又は周辺部品を破損させ二次的不具合を生じるおそれがある。	
2 (1257)	大型トラックプロペラシャフト脱落	大ト	ザ・グレート スーパーグ レートのFS、F Y	91/9～02/10	15,925	14,333	0	6	0	10/7	リコール実施後の車両においてタンデムプロペラシャフトを取付けているリヤリヤデフのキャッスルナットがゆるんで、最悪の場合ナットが外れプロペラシャフトが脱落する。	
3 (1111)	バス プロペラシャフト破損	大バ	エアロQueen、 エアロバス	91/12～02/4	266	264	0	2	0	6/15	流体式リターダ(補助制動装置)を装着した大型バスにおいて、プロペラシャフト接続部(エンドヨーク)の構造が不適切なため、エンドヨークに設けてある十字継手(スパイダ)のベアリング抜け出し防止用のストッパーが発進停止の繰り返しにより摩耗する、又はプロペラシャフト組立て時に損傷する可能性がある。 そのため、そのままの状態で使用続けると、ベアリングにガタを生じてプロペラシャフトが過大に振動し、最悪の場合、ベアリング固定金具又は取付ボルトが折損して、プロペラシャフトが脱落するおそれがある。	
4 (1259)	駐車ブレーキスプリング破損	大バ 大ト	エアロQueen、ザ・グ レートFU、FR	92/12～98/7	2,917	2,888	0	0	0	10/7	スプリングが腐食して折損した場合、下記 又は の現象が発生。スプリング折損により駐車ブレーキ能力が低下する。走行中に駐車ブレーキが効き始める。折損したスプリングでタイヤフレームが偏った場合、エア洩れが生じて、駐車ブレーキが解除できない。	
5 (1287)	フロントサスペンションボールジョイント摩耗	小ト 小バ	キャンター、 ローザ (フロント独立 懸架車)	93/10～03/07	405,994 106,832	95,961	0	2	0	10/27	ボールジョイントの樹脂ベアリングが摩耗してガタが発生し、そのままの状態で使用するとボールジョイントの金属ケースが損傷し、最悪の場合、ボールジョイントがサスペンションアームから外れ、走行不能になるおそれがある。	
6 (1286)	タイロッドエンドボールジョイント摩耗	小ト 小バ	キャンター、 ローザ (フロントリジッ トアクスル車)	93/10～99/11	251,735 258,415	216,668	0	0	0	10/27	タイロッドエンドのボールジョイントが摩耗して、走行中ハンドルに振動を感じることがあり、そのままの状態で使用をつけると、最悪の場合ボールジョイントがタイロッドから外れ、走行不能になるおそれがある。	
7 (1083)	燃料タンクブラケット破損	小ト	キャンター	97/2～02/5	418	390	0	0	0	6/15	燃料タンク取付金具の寸法精度並びに燃料タンクを取付金具にボルトで締結する部分の構造及び当該ボルトの締付けトルクが不適切なため、走行中の振動等により当該ボルト又は取付金具をフレームに固定するボルトに緩みが発生するものがある。 そのため、そのままの状態で使用続けると、燃料タンクに亀裂が発生し、燃料漏れが発生するおそれがある。また取付金具に亀裂が発生し、最悪の場合、当該取付金具が破損し燃料タンクが脱落するおそれがある。	
8 (1258)	駐車ブレーキケーブル破損	中ト 小ト 小バ	ファイター、キャン ター、ローザ	93/10～01/5	367,697	332,178	2	1	0	10/7	駐車ブレーキのケーブルが、T/M後部のセンターブレーキとの係合部で折損し、駐車ブレーキが効かなくなるおそれがあります。	
9 (1176)	パワーステアリングサーキュレタ破損	小ト	キャンター	93/10～97/2	15,227	12,418	0	0	0	7/28	パワーステアリングギヤボックス 内部のボール循環筒(サーキュレタ)の構造が不適切なため、過大な操舵入力に対する強度余裕が不足している。 そのため、タイヤが縁石に接触している状態でハンドル操作を繰り返すと、当該サーキュレタが破損し、最悪の場合、操舵不能となるおそれがある。	
10 (1208)	デッドアクスルハブベアリング焼付き	大ト	ザ・グレート、 スーパーグ レートの FU車(除く25t)	89/9～00/3	31,255	18,177	0	0	14	8/25	後後軸(デッド軸)のハブ内部に水が浸入しハブベアリングが焼付き、タイヤのバーストや最悪の場合車両火災に至る恐れがある。	
11 (1290)	フロント独立懸用アームシャフト亀裂	大バ	大型バスMS72 、MU515.525 MM526.527	82/12～94/8	10,011	7,089	0	1	0	10/27	前輪独立懸架装置のアップ・ロアームに亀裂が発生し、このままの状態で使用続けると最悪の場合アップ・ロアームが折損し走行不能・操舵不能になるおそれがある。	
12 (1277)	T/M ニードルベアリング不具合	大ト 大バ	スーパーグレート、 大型バス	00/3～03/9	7,719	7,605	0	0	0	10/20	3rdのニードルベアリングの不具合により、T/M操作不能、ギヤ入り不良、ギヤ抜け、異音が発生する。	
14 (1209)	キャブフックかかり不良	中ト	ファイター FK、FL、FM、FN (手動チルト車)	92/6～98/9	91,524	75,693	1	1	0	9/1	フックコントロールレバーが下がり切らない位置でチルト操作をすると、フックとシャシ部品が干渉してフックが変形し機能しないおそれがあります。最悪の場合、急制動時フックが外れキャブが前に倒れるおそれがあります。	
15 (1237)	リヤリーフスプリングのハンガーブラケットからの脱落	大ト	ザ・グレート、 スーパーグ レートFU	94/12～01/6	14,347	13,735	1	1	0	9/29	FUトラニオンサスペンション車において、高重心の積載をした状態で急な旋回をした時に、旋回内側の後々軸リーフスプリングアクスル側ブラケットのリバウンド押さえの爪部から外れることがある。	

1:届出時点の台数(但し、1クラッチハウジング破損は8月末の台数)
 2:本件はNo141(209)の物損と同一
 3:No31(1224)の内数
 太枠部分は前回発表時からの変更箇所となります。

No. (届出No.)	項目	区分	車種	生産期間	台数		不具合件数			届出日	不具合内容
					生産台数	登録台数 ¹	人身	物損	火災		
16 (1289)	リヤアクスルチューブ破損	大	ザ・グレート、スーパーグレート、スーパーグレート、FN4、FS4、FS5、FY5	83/8～99/9	21,053 21,062	13,682	0	0	0	10/27	リヤアクスルチューブがアウターベアリング付近で折損し、走行不能になるおそれがある
17 (1228) (46と統一)	非常ドアの開放	小バ	ローザ BE6、BG6 (非常口付車)	97/10～04/6	3,666	3,590	0	0	0	9/22	走行中に非常扉の警報ブザーが鳴ることがありそのままの状態で行った場合、非常扉開放の恐れがある。
18 (1230)	ABS/EZGO ハイドロリックユニット不具合	小バ 小バ	キャンター、ローザ	99/3～00/2	3,283	3,148	0	0	0	9/29	ブレーキの油圧を制御するハイドロリックユニット(HU)内部の故障により、ブレーキペダルのストロークが増加し、制動力が低下するおそれがあります。
19 (1166)	スプリングブレーキエアチャンバーブラケット破損	中	ファイター	99/5～02/2	108	107	0	0	0	7/14	後2軸車において、後々軸のスプリング式駐車ブレーキチャンバー取付金具(ブラケット)の強度が不足しているため、走行中の振動等により当該ブラケットに亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用続けると、当該ブラケットが破損し駐車ブレーキ能力が低下して、最悪の場合、チャンバーが脱落し、当該後々軸の駐車ブレーキが作動不能になる、又は、エアホースが損傷してエア漏れを生じるおそれがある。
20 (1167)	スプリングブレーキチャンバーへの水侵入	中 中バ	ファイター、エアロミディ	99/3～00/6	1,760	1,723	0	0	0	7/14	スプリング式駐車ブレーキ装着車において、チャンパー本体とホイールシリンダとの接続部のシール材の塗布が不適切なため、チャンパー及びホイールシリンダ内に水が浸入することがある。そのため、そのままの状態で使用続けると、ホイールシリンダ内部及びウェッジが錆びついて破損し、あるいは、冬期に凍結し、駐車ブレーキが作動不良となるおそれがある。
21 (1260)	ホイールパークウェッジ破損	大 大バ	エアロウィン、エアロパス、スーパーグレート	92/12～98/7	2,915	2,886	0	0	0	10/7	駐車ブレーキ用ウェッジ部が破損し、駐車制動力が低下する。(ウェッジ部破損輪のみ)
22 (1112)	ホイールパークウェッジ破損	大 大バ	大型バス 98MS8、スーパーグレート98FU5、フック式ホイールパーク仕様車 (FUはオプション)	97/12～98/12	552	548	0	0	0	7/14	スプリング式駐車ブレーキ装着車において、ブレーキシューを拡張するウェッジロッド先端部のローラに熱処理が不適切なものがある。そのため、当該ローラが早期に破損して、最悪の場合、駐車ブレーキが作動不良となり、駐車制動力が低下するおそれがある。
23 (1168)	ハイドロリックブースタへのエアの混入	小	キャンター (ハイドロリックブースタ装着車)	99/3～04/5	9,018	8,817	2	2	0	7/21	ハイドロリックブースタASSYの故障により、フロントブレーキオイルラインにエアが混入し、徐々にペダルのストロークが増加して、制動力が低下するおそれがあります
24 (1265)	プロペラシャフト脱落	大	ザ・グレート、スーパーグレート、FV-R	96/7～04/9	2,821	2,415	1	1	0	10/13	後前軸インプット部エンドヨークを止めるキャスルナットが緩み、プロペラシャフトが脱落する。
25 (1262)	チェントランスファオイル洩れ	中バ	エアロミディ、MJ	88/1～93/8	2,094	1,906	0	0	6	10/13	連続高速走行時チェントランスファー内油温が上昇し、ブリーザーからオイルが噴出することがあり、最悪の場合、火災に至るおそれがある。
26 (1222)	フライホイールリングギアの磨耗と破損	大バ	大型バス MP3(6M7)	00/5～04/5	2,052	2,052	0	0	2	9/15	リフギヤにスターバグが引っ掛かり、スタータが回転しなくなる。(エンジン始動不良)この状態でスタータON操作を繰り返した場合は、スタータグネットがショートし、スタータとスタータレ間のハーネスに大電流が流れ、スタータハーネスが焼損する恐れがある。
27 (1221)	フロントハブベアリングへの水侵入	小	キャンター (フロント独立懸架車)	02/5～04/3	35,395	34,840	0	0	0	9/15	フロントハブインナーベアリングの発錆・損傷によりフロントタイヤ付近からの異常なノイズ・振動、またはガタが発生し、最悪の場合、走行不能となるおそれがあります。
28 (1236)	フロントハブベアリング焼き付き	大 中 大バ 中バ	スーパーグレート、中型トラック、大型バス、中型バス	00/3～04/9	56,229	53,183	0	1	9	9/22	フロントハブアウターベアリングに焼付きが発生する
29 (1235)	フロントハブベアリング焼き付き	中 中バ	ファイター、エアロミディ	02/5～04/9	33,990	32,177	0	0	1	9/22	フロントハブベアリングの焼き付きにより、フロントタイヤ付近からの異常なノイズ・振動またはガタが発生し、走行不能となるおそれがあり、最悪の場合、脱輪のおそれがあります。
30 (29の副次的扱い)	ハブ破損(ベアリング破損による)	中 中バ	ファイター、エアロミディ				0	0	0	9/22	フロントハブベアリングの焼き付きにより、フロントタイヤ付近からの異常なノイズ・振動またはガタが発生し、走行不能となるおそれがあり、最悪の場合、脱輪のおそれがあります。

1:届出時点の台数(但し、1クラッチハウジング破損は8月末の台数)
 2:本件はNo141(239)の物損と同一
 3:No31(1224)の内数
 太枠部分は前回発表時からの変更箇所となります。

No. (届出No.)	項目	区分	車種	生産期間	台数		不具合件数				届出日	不具合内容
					生産台数	登録台数 ¹	人身	物損	火災			
31 (1224) (37と統一)	A/T オイルホース破損	中ト	ファイター (3速オートマチック ランスミッション車)	92/9～03/1	1,771	1,456	0	0	1	9/15	A/T油温上昇によりA/Tオイルクーラホースが破損して、オイルもれが発生し、最悪の場合、車両火災に至るおそれがあります。	
32 (1241)	インジェクションポンプラックの破損	大ト 大バ	大型トラックザ・ グレート: FU,FV,FS 他 大型バスエアロク イーン:MS	94/11～96/7	5,160	4,854	0	0	12	9/22	噴射ポンプのコントロールラックが折損し、エンジンが吹け上がる。	
33 (1210)	キャブ電源ハーネスの損傷	大ト	スーパーグ レート FU,FV,FT,FS他	96/4～03/11	53,717	52,009	0	0	0	9/1	キャブ前面の電源ハーネスの被覆が損傷・断線し、最悪の場合、エンジンが停止するおそれがある	
34 (1254)	燃料パイプクランプの脱落	小ト 小バ 中ト	ファイター:FK キャン ター:FE,FF,FG エアロミディ:ME, ローザ:BE,BG	98/9～04/8	75,596	73,980	0	0	35	9/29	噴射管クランプが脱落し、スタータ電源に配線されているS端子付近に落下する可能性があり、その場合、エンジン始動時、あるいは始動直後の走行時にショートしてスタータハーネス等から発煙し、最悪の場合、発火するおそれがあります。	
35 (1223)	ターボエンジン用の箱型マフラーの亀裂	大ト	スーパーグ レートの FV-R,FP-R (8M22T, 6M70T搭載車)	00/3～03/1	739	724	0	0	5	9/15	箱型マフラーのドラム部栓溶接際より亀裂し、高温の排気ガスが洩れるおそれがある。	
36 (1238)	エンジンリヤマウント破損	大ト	スーパーグレート: FU,FV,FT,FS 他	00/1～04/8	28,651	28,325	0	1	0	9/29	エンジンリヤマウントラバーの金具とラバーの際に亀裂が発生し、最悪の場合、エンジンリヤマウントラバーが破損して、エンジン、トランスミッションが搭載位置からずれるおそれがある。	
37 (1224) (31と統一)	A/T油温上昇	中ト	ファイター (3速オートマチック ランスミッション車)	92/9～97/8	967 ³	788	0	0	0	9/15	A/T油温の上昇によりA/T内部の部品に異常が生じ、走行中に変速不能となったり、発進不能となるおそれがあります。	
38 (1266)	アクスルシャフト破損	大ト	ザ・グレート FT	83/7～95/1	3,035	1,440	1	0	0	10/13	急発進等でリヤアクスルシャフトに急激な力が繰り返し加わると、最悪の場合、リヤアクスルシャフトが亀裂破損する	
39 (1278)	ナックルアーム破損	小ト 小バ	キャンター:FE ローザ:BE,BH	80/2～90/4	254,252	58,284	0	0	0	10/20	ナックルアームに亀裂が発生し、そのままの状態で使用を続けると最悪の場合ナックルアームが折損し操舵不能になるおそれがあります。	
40 (1198)	キャブハーネス不具合によるスタータ破損	小ト	キャンター	95/3～96/12	36,787	31,409	0	1	0	8/4	キャブ内中央付近のハネ内で、ワイパー作動時にワイパーリンクとハーネスが干渉し、ハーネスがショートして電装品の作動に異常(ワイパー作動時、ウォーニングランプ点灯やスタータが廻るなど)をきたすおそれがあります。	
41 (1242)	ナックルアームボールスタッド折損	小ト	キャンター:FE	89/10～91/5	34,837	16,561	0	0	0	9/22	ナックルアームのボールスタッドの強度余裕が不足しているため、据切りの多用や操舵頻度の高い走行を繰り返すと、当該ジョイントに亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合ボールスタッドが折損して操舵不能となるおそれがある。	
42 (1276)	排気パイプ亀裂	大バ	エアロクイーン: MS エアロキング: MU	92/10～98/8	3,026	2,926	0	0	0	10/20	排気フロントパイプが亀裂し、同パイプ上側にあるハーネスを溶損する可能性がある。	
43 (1261)	T-ドライブシステム脱落	中バ	エアロミディ MJ, MK	85/11～96/3	3,797	3,263	0	0	0	10/13	走行中に車体後部から異常振動・異音が発生する。そのまま走行し続けた場合、トランスバースギヤボックスインプットコンパニオンフランジのガタが増大し、フライホイールハウジングのトランスバースギヤボックス取付部が破損する恐れがある。	
44 (1199)	T/M シフトワイヤ折損	小ト	キャンター	99/3～00/7	8,171	7,929	0	0	0	8/4	シフトワイヤを中間で固定するクランプに取付け角度の不適切なものがあり、それによりワイヤの曲げ(R)が小さくなり、最悪の場合、シフトワイヤが折損するおそれがあります。	

1:届出時点の台数(但し、1クラッチハウジング破損は8月末の台数)
 2:本件はNo141(209)の物損と同一
 3:No31(1224)の内数
 太枠部分は前回発表時からの変更箇所となります。

No. (届出No.)	項目	区分	車種	生産期間	台数		不具合件数			届出日	不具合内容
					生産台数	登録台数 ¹	人身	物損	火災		
46 (1228) (17と統一)	荷物扉開放	小バ	ローザ BE6, BG6 (観音扉付き車)	97/10 ~ 02/3	1,077	1,050	0	0	0	9/22	走行中にキャッチからロックが外れ、観音扉が開放する恐れがある。
47 (1229)	急ブレーキ時の非常扉シート倒れ	大バ 中バ	大型バスMS7.8 MP2.6.3.7 中型バスMJ (路線) MK MM3.8 ME	74/7 ~ 04/6	51,943	28,241	5	0	0	9/22	急ブレーキ時にバランスを崩した乗客が非常口横のシート(前転倒式)の背もたれにつかまると、シートのストッパーが外れ、シートが前に倒れる。

改善対策一覧

13 (261)	キャブチルト警告灯不良	大ト 中ト	(大ト)グレート スーパーグレート FU,FV,FP,FT,FW (手動チルト車) (中ト)ファイター FK,FL,FM,FN (手動チルト車)	83/8 ~ 99/11	246,862 246,852	142,425	0 1	0 1 ²	0	9/1	キャブチルトロックが解除しているにもかかわらず、キャブチルトウォーニングランプが点灯しないおそれがあります。
-------------	-------------	----------	--	--------------	--------------------	---------	--------	---------------------	---	-----	--

サービスキャンペーン

45	AT車駐車時の注意喚起	小バ 小バ	キャンター, ローザ (オートマチック トランスミッション 装着車)	85/09 ~ 04/08	31,208 30,316	23,677	0	5	0	10/27 (通知)	オートマチックトランスミッション搭載車は、急勾配の坂道に駐車する際、Pレンジのみで駐車した場合や、Pレンジに入っても荷物の積み込み作業などによる荷重が加わった場合駐車ブレーキが確実に効いていないと車両が動き出す可能性がある。
----	-------------	----------	--	---------------	------------------	--------	---	---	---	---------------	--

本日届出(通知)が完了した項目

本日届出の案件

No.	市場措置アイテム	リコール/ 改善対策	対象機種	生産台数 製作期間	实在登録 台数
5 (1287)	フロントサスペンションボールジョイント摩耗	リコール	小型トラック キャンター(フロント独立懸架車):FB,FE,FD,FG 小型バス ローザ(フロント独立懸架車):BE,BG	106,832 405,994 93/10 ~ 03/07	95,961
6 (1286)	タイロッドエンドボールジョイント摩耗	リコール	小型トラック キャンター(フロントリジットアクスル車):FB,FE,FG 小型バス ローザ(フロントリジットアクスル車):BE,BG	258,415 251,735 93/10 ~ 99/11 93/09 ~ 99/07	216,668
11 (1290)	フロント独懸用アームシャフト亀裂	リコール	大型バス エアロQueen、エアロキング:MS,MU エアロミディ:MM	10,011 82/12 ~ 94/8	7,089 (8月末時点)
16 (1289)	リヤアクスルチューブ破損	リコール	大型トラック サ・グレイト、スーパーグレイト(低床車): FN4,FS4,FS5,FY5	21,062 24,053 '83/8 ~ '99/9 '97/12	13,682

本日通知の案件

No.	市場措置アイテム	リコール/ 改善対策	対象機種	生産台数 製作期間	实在登録 台数
45 (-)	AT車駐車時の注意喚起	サービス キャンペーン	小型トラック キャンター(AT車):FE 小型バス ローザ(AT車):BE	30,316 34,208 85/09 ~ 04/08	23,677

: 欄の括弧はリコール届出番号を示す。

本日届け出の物損事故関連補足資料

2004.10.27

5(1287) フロントサスペンション ボールジョイント摩耗 (物損)

(6/6)

	型式	架装	不具合発生年月日	登録年月日	走行距離 [km]	積載物	ドライバー 年齢・性別	発生時の状況	発生場所
1	FE507B	冷凍車	04/8/30	95/3/28	不明	食肉	男性・35才	45km/hで走行中突然異音が発生しハンドル操作不能状態となり、道路左の電柱に衝突。キャブを損傷。	福岡県柳川市筑紫町
2	FB501B	ホ口車	04/9/24	97/10/27	230,972	家庭用 クーラー-部品	男性・34才	40km/hで走行中、異音と共に車体が傾き、カーブミラーに衝突。車輛左側のドアガラス、ミラー及びビニールステータ破損。	宮崎市大字島之内

11(1290) フロント独懸用アームシャフト亀裂 (物損)

	型式	架装	不具合発生年月日	登録年月日	走行距離 [km]	実際の用途	ドライバー 年齢・性別	発生時の状況	発生場所
1	MS725S	観光	2004/7/17	1985/3/1	775,697km	観光 (回送中)	男性・56歳	高速道80km/hで走行中、前方が渋滞していた為ハザードを上げスピードを徐々に低下。40km/h時ショックが有り、左前がガツンと下がり、停車。事故による被害は、道路の路面が剥離。	京葉道上り幕張イタより東京方面に約1km地点 習志野市袖ヶ浦5丁目付近

45(-) AT車駐車時の注意喚起 (物損)

	型式	架装	不具合発生年月日	登録年月日	走行距離 [km]	積載物	ドライバー 性別・年齢	発生時の状況	発生場所
1	FE568C	塵芥車	2001/11/09	1999/03/26	85,075	空車	男性・40歳	急な下り坂勾配(約21%)の道路にパーキング・レンジ、及びパーキングブレーキを引きエンジンはかかったまま運転席から降りたところ車両が動きだし、駐車場のパイプ製柵乗り越え、フロントバンパーなど自車両前部および柵を一部破損して止まった。他車両への被害なし。	広島県広島市安佐北区小 河原町(アサキタカワラチヨウ)
2	FE517BD	ダンプ	2001/08/06	1998/12/17	22,951	山砂	男性・50歳	急な下り坂勾配(約18%)の道路にパーキング・レンジ、及びパーキングブレーキを引き駐車。パワーショベルにて山砂を積下ろし作業中、異音とともに車両が動きだし、民家に衝突。他車両の被害なし。自車両キャブ全損、家屋根破損。	熊本県内の町道
3	FE51EB	ダンプ	2001/12/18	2000/11/30	6,253	砂	男性・42歳	坂道(勾配不明)にてパーキングブレーキを引き、パーキング状態にし、車両から離れ作業中、車両が突然動き出した。5m下の側溝に左タイヤが脱輪し停止。車をパワーショベルにて引出し確認中、再度動き出し、立ち木に右フロントパネル衝突し、キャブ全損。他車両への被害はなし。	宮崎県東諸県郡(ヒガシモロカ ケン)高岡町
4	FE53EEV	ボトルカー	2004/07/19	2000/06/05	115,441	飲料水	男性・27歳	駐車場内の下り坂(約9%)を3トン積車でPレンジのみで駐車中動き出し、駐車車両3台のリアバンパーに接触。	静岡県富士市岩本
5	FE516BN	塵芥車	2003/08/21	1995/07/26	推定82500	塵芥	男性・42歳	のぼり坂でPレンジに入れてパーキングブレーキで停車中、車両が急に動き出した。約20mバックし民家に衝突。民家の屋根及び壁部分損傷。他車両への被害なし。	京都府宇治市宇治

市場措置実施状況 (10月23日現在)

資料2

(1/3)

1. 大型トラック・バス ハブ関係の実施状況

No	市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数		実施状況					
		届出台数 (製作期間全体の範囲)	実在登録台数 (04年8月末現在)	暫定措置		恒久措置		合計	
				実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)
1	大型トラック・バス フロントハブ不具合対策リコ-ル (04年3月24日・1056), (04年4月22日・1076)	217,407 ('83年7月11日~'03年2月3日)	101,765	20,015 (19,909)	19.7% (19.6%)	56,876 (56,666)	55.9% (55.7%)	76,891 (76,575)	75.6% (75.2%)
2	大型トラック25トン車 フロントハブ不具合対策リコ-ル (04年8月19日・1204)	2,617 ('94年11月12日~'96年3月5日)	2,340	25 (24)	1.1% (1.0%)	685 (607)	29.3% (25.9%)	710 (631)	30.3% (27.0%)
3	大型トラック・バス リヤハブ不具合暫定対策リコ-ル (04年4月15日・1072)	21,769 ('89年8月31日~'92年11月6日)	9,805	6,150 (6,070)	62.7% (61.9%)	—	—	6,150 (6,093)	62.7% (62.1%)

・()内数値は、10月16日時点の数値を示す。

2. 対策が必要な47案件の市場措置実施状況

No	市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数		実施状況			
		届出台数 (製作期間全体の範囲)	実在登録台数	暫定措置		恒久措置	
				実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)
1	大型トラック クラッチハウジング不具合対策リコ-ル (04年5月26日・1092)	168,002 ('83年6月2日~'99年4月27日)	71,876 (04年8月末現在)	69,014 (68,839)	96.0% (95.8%)	245 (158)	0.3% (0.2%)
2	キャンター (ル-トバン仕様車)燃料タンク不具合対策リコ-ル (04年6月15日・1083)	418 ('97年2月28日~'02年5月31日)	390 (04年7月末現在)	—	—	289 (286)	74.1% (73.3%)
3	MS8流体式リタ-ダ装着車プロペラシャフトエンドヨ-ク不具合対策リコ-ル (04年6月15日・1111)	266 ('91年12月21日~'02年4月10日)	264 (04年7月末現在)	12 (14)	4.5% (5.3%)	124 (120)	47.0% (45.5%)
4	MS8・FU5 スプリング式駐車ブレーキ ウェッジ不具合対策リコ-ル (04年7月14日・1112)	552 ('97年12月12日~'98年12月21日)	548 (04年7月末現在)	218 (213)	39.8% (38.9%)	112 (101)	20.4% (18.4%)
5	ファイター スプリング式駐車ブレーキチャンパー不具合対策リコ-ル (04年7月14日・1166)	108 ('99年5月12日~'02年2月14日)	107 (04年7月末現在)	43 (45)	40.2% (42.1%)	15 (12)	14.0% (11.2%)
6	ファイター・エアロミディー スプリング式駐車ブレーキチャンパー不具合対策リコ-ル (04年7月14日・1167)	1,760 ('99年3月10日~'00年6月14日)	1,723 (04年7月末現在)	801 (779)	46.5% (45.2%)	82 (61)	4.8% (3.5%)
7	キャンターブレーキライン不具合対策リコ-ル (04年7月21日・1168)	9,018 ('99年3月31日~'04年5月12日)	8,817 (04年7月末現在)	2,671 (3,504)	30.3% (39.7%)	1,210 (211)	13.7% (2.4%)
8	キャンター ステアリングギヤ ボックス不具合対策リコ-ル (04年7月28日・1176)	15,227 ('93年10月25日~'97年2月13日)	12,418 (04年7月末現在)	3,467 (3,305)	27.9% (26.6%)	23 (13)	0.19% (0.1%)
9	キャンター キャブハーネスワイパーリンク干渉不具合対策リコ-ル (04年8月4日・1198)	36,787 ('95年3月14日~'96年12月25日)	31,409 (04年7月末現在)	—	—	7,065 (6,409)	22.5% (20.4%)
10	キャンター トランスミッションコントロールケーブル不具合対策リコ-ル (04年8月4日・1199)	8,171 ('99年3月24日~'00年7月30日)	7,929 (04年7月末現在)	2,149 (2,094)	27.1% (26.4%)	1,450 (1,301)	18.3% (16.4%)
11	大型トラック 後軸(非駆動軸)ハブベアリング不具合対策リコ-ル (04年8月25日・1208)	31,255 ('89年9月26日~'00年3月16日)	18,177 (04年7月末現在)	10,018 (9,849)	55.1% (54.2%)	0 (0)	0.0% (0.0%)
12	中型トラック キャブフック不具合対策リコ-ル (04年9月1日・1209)	91,524 ('92年6月29日~'98年9月29日)	75,693 (04年7月末現在)	20,475 (19,207)	27.1% (25.4%)	88 (46)	0.12% (0.1%)
13	大型トラック キャブ全面ハーネス不具合対策リコ-ル (04年9月1日・1210)	53,717 ('96年4月24日~'04年7月19日)	52,009 (04年7月末現在)	21,323 (20,565)	41.0% (39.5%)	106 (54)	0.20% (0.1%)
14	大型トラック・中型トラック キャブチルト警告灯不具合改善対策	246,852	142,425	27,137	19.1%	304	0.21%

(04年9月1日・261)	(’83年8月27日～’99年11月30日)	(04年7月末現在)	(27,137)	(19.1%)	(304)	(0.21%)
---------------	------------------------	------------	----------	---------	-------	---------

2. 対策が必要な47案件の市場措置実施状況

No	市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数		実施状況			
		届出台数 (製作期間全体の範囲)	実在登録台数	暫定措置		恒久措置	
				実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)
15	キャンター フロントハブベアリング不具合対策リコ-ル (04年9月15日・1221)	35,395 (’02年5月24日～’04年3月11日)	34,840 (04年8月末現在)	11,016 (10,346)	31.6% (29.7%)	14 (8)	0.04% (0%)
16	大型路線バス フライホイールリングギヤ不具合対策リコ-ル (04年9月15日・1222)	2,052 (’00年5月18日～’04年5月14日)	2,052 (04年7月末現在)	—	—	92 (35)	4.5% (1.7%)
17	大型トラック 消音器(箱型マフラー)不具合対策リコ-ル (04年9月15日・1223)	739 (’00年3月9日～’03年1月12日)	724 (04年7月末現在)	263 (257)	36.3% (35.5%)	23 (18)	3.2% (2.5%)
18	中型トラック 自動変速機搭載車 不具合対策リコ-ル (04年9月15日・1224)	1,771 (’92年9月16日～’03年1月15日)	1,456 (04年7月末現在)	322 (296)	22.1% (20.3%)	0 (0)	0.0% (0.0%)
19	ローザ 非常口扉・後部観音開き扉不具合対策リコ-ル (04年9月22日・1228)	4,743 (’97年10月9日～’04年6月11日)	4,640 (04年7月末現在)	—	—	3 (2)	0.1% (0%)
20	大・中型バス 非常口付近座席転倒防止対策リコ-ル (04年9月22日・1229)	51,943 (’74年7月20日～’04年6月21日)	28,241 (04年7月末現在)	—	—	8,704 (5,399)	30.8% (19.1%)
21	中型トラック・バス フロントハブベアリング不具合対策リコ-ル (04年9月22日・1235)	33,990 (’02年5月21日～’04年9月8日)	32,177 (04年8月末現在)	—	—	1551 (674)	4.8% (2.1%)
22	大型トラック・バス フロントハブベアリング不具合対策リコ-ル (04年9月22日・1236)	56,229 (’00年3月2日～’04年9月15日)	53,183 (04年7月末現在)	—	—	1,195 (1195)	2.2% (2.2%)
23	大型トラック・バス 原動機噴射ポンプ不具合対策リコ-ル (04年9月22日・1241)	5,160 (’94年11月8日～’96年7月19日)	4,854 (04年8月末現在)	—	—	0 (0)	0.0% (0.0%)
24	キャンター ナックルアームボールスタッド不具合対策リコ-ル (04年9月22日・1242)	34,837 (’89年10月11日～’91年5月20日)	16,561 (04年8月末現在)	1,331 (1,346)	8.0% (8.1%)	2 (2)	0.0% (0.0%)
25	キャンター・ローザ ハイドロリックユニット不具合対策リコ-ル (04年9月29日・1230)	3,283 (’99年3月24日～’00年2月17日)	3,148 (04年8月末現在)	—	—	15 (9)	0.5% (0.3%)
26	大型トラック 後々軸(非駆動軸)リヤばね外れ不具合対策リコ-ル (04年9月29日・1237)	14,347 (’94年12月5日～’01年6月22日)	13,735 (04年8月末現在)	—	—	17 (5)	0.1% (0%)
27	大型トラック(6M70ターボエンジン)リヤエンジンマウント不具合対策リコ-ル (04年9月29日・1238)	28,651 (’00年1月29日～’04年8月27日)	28,325 (04年8月末現在)	229 (77)	0.8% (0.3%)	42 (3)	0.15% (0%)
28	4M5型エンジン 噴射管クランプ不具合対策リコ-ル (04年9月29日・1254)	75,596 (’98年9月25日～’04年8月18日)	73,980 (04年8月末現在)	—	—	168 (74)	0.2% (0.1%)
29	大型トラック 後前軸と後後軸間プロペンシャフト不具合対策リコ-ル (04年10月7日・1257)	15,925 (’91年9月27日～’02年10月31日)	14,333 (04年8月末現在)	3,487 (3,487)	24.3% (24.3%)	0 (0)	0.0% (0.0%)
30	キャンター、ローザ、ファイター 駐車ブレーキケーブル不具合対策リコ-ル (04年10月7日・1258)	367,697 (’93年10月11日～’01年5月29日)	332,178 (04年8月末現在)	—	—	0 (0)	0.0% (0.0%)
31	大型 エアオーバー車 駐車制動用ブレーキスプリング不具合対策リコ-ル (04年10月7日・1259)	2,917 (’92年12月11日～’98年7月15日)	2,888 (04年8月末現在)	—	—	0 (0)	0.0% (0.0%)
32	大型 エアオーバー車 駐車制動用ブレーキウェッジ不具合対策リコ-ル (04年10月7日・1260)	2,915 (’92年12月11日～’98年7月15日)	2,886 (04年8月末現在)	—	—	0 (0)	0.0% (0.0%)

2. 対策が必要な47案件の市場措置実施状況

No	市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数		実施状況			
		届出台数 (製作期間全体の範囲)	実在登録台数	暫定措置		恒久措置	
				実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)
33	中型バス 変向機(Tドライブ)ピニオンギヤシャフト不具合対策リコール (04年10月13日・1261)	3,797 ('85年11月26日~'96年3月30日)	3,263 (04年8月末現在)	0	0.0%	0	0.0%
34	中型バス チェーン駆動式動力伝達装置(トランスファ)不具合対策リコール (04年10月13日・1262)	2,094 ('88年1月13日~'93年8月25日)	1,906 (04年8月末現在)	—	—	0	0.0%
35	大型トラック後2軸駆動車 前側駆動軸差動機(インタデフケース)不具合対策リコ (04年10月13日・1265)	2,821 ('96年7月31日~'04年9月28日)	2,612 (04年8月末現在)	0	0.0%	0	0.0%
36	大型トラック後1軸駆動車 リヤアクスルシャフト不具合対策リコール (04年10月13日・1266)	3,035 ('83年7月15日~'95年1月31日)	1,440 (04年8月末現在)	—	—	0	0.0%
37	大型バス エキゾ - ストパイプ不具合対策リコ - ル (04年10月20日・1276)	3,026 ('91年10月16日~'98年8月5日)	2,926 (04年8月末現在)	1,860	63.6%	0	0.0%
38	大型トラック、バス トランスミッションニ - ドルベアリング不具合対策リコ - ル (04年10月20日・1277)	7,719 ('00年3月28日~'03年9月24日)	7,601 (04年9月末現在)	—	—	0	0.0%
39	キャンタ - 、ロ - ザ パワステ付き車ナックルア - ム不具合対策リコ - ル (04年10月20日・1278)	254,252 ('80年2月1日~'90年4月27日)	58,284 (04年9月末現在)	3,603	6.2%	0	0.0%

・()内数値は、10月16日時点の数値を示す。

3. 47案件以外の届出項目の実施状況

No	市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数		実施状況			
		届出台数 (製作期間全体の範囲)	実在登録台数	暫定措置		恒久措置	
				実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)
1	大型バス リヤブレ - キホ - ス不具合対策リコ - ル (04年6月15日・1110)	620 ('00年6月28日~'02年3月7日)	607 (04年7月末現在)	—	—	541 (536)	89.1% (88.3%)
2	CNG車 レギュレータガス漏れ不具合対策リコ - ル (04年8月4日・1195)	436 ('01年9月5日~'04年2月17日)	1,078 (04年7月末現在)	—	—	527 (474)	48.9% (44.0%)
3	ファイター リヤ ブレーキホイールシリンダーサービスキャンペーン (04年9月10日)	182 ('02年3月8日~'02年4月2日)	182 (04年7月末現在)	—	—	0 (0)	0.0% (0.0%)
4	大型トラック 4バグ式空気ばね緩衝装置付車Vロッド不具合対策リコール (04年9月22日・1234)	4,454 ('03年5月16日~'04年4月13日)	4,341 (04年8月末現在)	—	—	0 (0)	0.0% (0.0%)
5	大型トラック・バス エンジンハーネス不具合対策リコール (04年9月22日・1239)	21,427 ('98年7月2日~'04年2月27日)	21,149 (04年8月末現在)	—	—	53 (18)	0.25% (0.10%)
6	大型トラック 機械式自動変速機用電子制御機器(ECU)不具合対策リコール (04年10月13日・1268)	3,724 ('98年7月27日~'04年5月19日)	3,659 (04年8月末現在)	0	0.0%	0	0.0%

・()内数値は、10月16日時点の数値を示す。

4. 緊急点検・無料点検の実施状況

緊急点検・無料点検(04年7月1日開始)	緊急点検実施台数	無料点検実施台数
		253,118(246,328)

・()内数値は、10月16日時点の数値を示す。

6/14以降の事故案件について

:網掛け部が前回会見に対して追加・変更した箇所を示す。

2004.10.27

発生日時	場所	車両	スクランブル	事故内容及び調査概要	人身	47項目のリコール等 不具合内容との関連性	過去の該当リコール案件
6/14日11時	香川県坂出市 瀬戸中央自動車道	F K515J 87年12月登録	済	瀬戸中央自動車道走行中、左側壁に衝突し弾みで中央分離帯へ衝突、更に左側壁に衝突しながら200m走行して停止。 ・ステアリング系は引っかかり、渋りなく作動はスムーズであり、正常と判断。 ・ブレーキ系も作動テストにて異常なく、したがって、車両として正常であり、問題ないと推定。	ドライバー死亡 同乗者骨折	当社調査結果から関連性は認められません。	該当無し
6/15日20時	中央道 長野県座光寺PA	FU517TX 00年4月登録	済	中央自動車道下り走行中、松川C先下り坂でブレーキを使用したところ、ブレーキ警報ランプ点灯とブザーが吹鳴。後々軸左側の内側の部分から出火。 ・後々軸左側のみヘアリング廻りに錆有り、水浸入の痕跡有り。 ・他の車輪は全てきれいであり、水浸入の痕跡なし。 ・後々軸ヘアリング焼き付のリコールに該当する可能性有り。	なし	47案件 (No.10) に該当	電気系統のリコール対象 (00年8月対策済み) 緊急点検・実施前
6/18日2時	愛媛県伊予市	FU416U 90年5月登録	済	左前輪付近から出火、キャブ全焼。 ・前軸及び後々軸のブレーキ引きずりが発生。 ・エアマスター作動テストの結果、作動は正常。 ・ブレーキ液に鉱物油が混入しておりエアマスター内のバルブシートが膨潤しブレーキ液の戻りが悪くなり、残圧が発生し、引きずり状態になったと推定。鉱物油の混入の時期、状況等については特定できず。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2002年7月Fハブ交換済) リアハブ04年5月24日車検時、 亀裂点検済み(亀裂なし) リアハブは未交換。
6/18日4時	広島県安佐南区 山陽自動車道	(追突車) FU410TZ 95年7月登録	済	前車に衝突し、運転手社外投げ出され死亡。事故後衝突車は約2キロ 無人のまま走行し、横転して停車。 ・現車は追突の衝撃によりアクセルペダルが引っ掛かった状態のままとなったため、衝突後もそのまま走行したものと推定。 ・インジネCUと電気回路は損傷なし。車両として正常であり、問題ないと推定。	ドライバー死亡	当社調査結果から関連性は認められません。	被追突車はフロントハブリコール対象 テック軸ヘアリング緊急点検対象 (2004年5月点検実施済)
6/21日4時	愛知県豊橋市	FP411D 94年9月登録	済	中央分離帯を乗り越え、対向車線を横切り、ガードレールを突き破り道路外の用水路に転落。 ・クラッチハウジングについても亀裂なく、プロペラシャフトも破損なし。 ・ハブ破損なく、問題なし。車両として正常であると推定。	ドライバー死亡	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2003年2月Fハブ交換済) クラッチハウジングリコール対象
6/21日22時	佐賀県神埼町 長崎自動車道 東そのぎインター 手前バス停	FU410U 96年3月登録	済	後前軸左内側、右内側から発火し、消防により消火。 ・フロントハブ異常なし。後前軸ヘアリング正常。ブレーキのひきずりなく、ブレーキは正常。 ・後前軸左側の内側グイアのスチールワイヤが露出し、タイヤバーストしたと思われる痕跡有り。 ・タイヤバーストによりウイング用オイル配管を破損させ、漏れたオイルに引火したものと推定。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2003年5月Fハブ交換済)
6/23日22時	福岡県久留米市 宮の陣 九州自動車道	FU410TZ改 95年9月登録	済	走行中右後輪から出火、30分後に消火。 ・後々軸右側のアウターヘアリング焼き付き破損。目視では目立った錆は無し。 ・ブレーキラインが下側焼け大(後軸芯ずれのため)。他のリア3輪とも、ロックアップに緩み有り。 ・不具合発生部位以外の3輪のグリスは、使用に適さない性状である。(除く後々軸左アウターヘアリング部) ・不具合部位のグリスは、熱や消火作業時の放水の影響を受けていると思われる判定困難。 ・ヘアリングは後々軸左側を除いて継続使用には適さない状態。不具合部位後々軸右側のアウターヘアリングは破損のため調査不可能。	なし	関連性については 精査中(警察調査結果待ち)	該当無し
6/23日10時	千葉県野田市 県道7号線	FE50EB 00年12月登録	済	前方車両が急停止したため、ブレーキを踏んだが止まらず、踏み直したが停車できず、追突。 ・制動力異常無し。ABS装置も診断結果エラー無く問題無し。 ・車両として正常であり問題無いと推定。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	ABSプログラム改善対策対象 (2002年3月措置済)
6/24日10時	和歌山県 阪和道 御坊～南部	FE435E 93年9月登録	済	走行中インジネ吹きが悪くなり、3km走行後非常駐車帯に停車して状況確認したところセルモーター付近の配線から発煙。若干焦げた程度。 ・インジネ左側7ロックより第4気筒目のコックアウト突き出し。 ・インジネオイルの残量が異常に少なく、更に、インジネ周りに多量のオイル漏れが発生していることから、オイル不足からヘアリング焼き付き、コックアウト破損に至ったと思われる。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	該当無し
7/5日18時	群馬県藤岡市 関越自動車道 (藤岡JCT付近)	BE459F 95年8月登録	済	車体から白煙が見えたので停車。インジネルームから炎が出ていたので、消火器で消火を試みるも全焼。 ・スターターは連続通電による内部過熱の形跡なし。キースイッチリコールとの関連性は少ない。 ・インジネルーム内は全焼しているが、左側の焼損が激しい。ただし左側には樹脂類の可燃物が多く延焼したものか、火元かの判別は困難である。 ・燃料パイプ、噴射ホーン噴射管に亀裂なく、これらからの燃料漏れの可能性はない。オルタネーターは県警が調査中。	なし	関連性については 精査中(警察調査結果待ち)	スターターキースイッチリコール対象 (2003年6月措置済)
7/7日14時	埼玉県加須市 東北自動車道下り 加須IC先約3km	FE437EV 90年8月登録	済	走行中、突然ホーンが鳴りつけ、ブレーキも効かず、キャブ下から煙。 ・車両を路側に停めるとキャブ炎上、消防車出動し消火するが、キャブ、インジネ、ホデー全焼。 ・インジネ左側7ロックより第4気筒目のコックアウト突き出し。インジネオイル残量なし。 ・潤滑不良によるインジネ焼けと思われる。オイル管理状況についてはユーザーから警察および販社に整備記録を連絡。 (直近のオイル交換記録は04年5月20日)	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	該当無し

発生日時	場所	車両	スクランブル	事故内容及び調査概要	人身	47項目のリコール等 不具合内容との関連性	過去の該当リコール案件
7/14日20時	山口県 中国自動車道 美弥インター付近	FV415JR 93年5月登録	済	プロペラシャフトが脱落。後続車が脱落したプロペラシャフトにタイヤを擦ったが、事故にならず。 ・クラッチハウジング、トランスミッションケースに亀裂はなし。 ・フアンヨークのボルト穴部から破断している。プロペラシャフト材質に異常はないが破断面の様相からは破損モードは特定不可能。ユニバーサルジョイントのスパイダーに交換歴あり。フアン破損部の状況からスパイダー交換時のベアリングカップボルトの締め付け不足による弛み、破損の可能性が考えられる。整備状況を調査中。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 クラッチハウジングリコール対象
7/18日16時	長崎県壱岐町 長崎自動車道下り 壱岐IC付近	BE632G 98年11月登録	済	走行中、エンジン付近から発煙、路肩に停車した。このあと出火し、エンジンルーム内が焼損している。 ・エンジンルームの上部が焼損、エンジンオイル洩れが激しい。 ・形跡から見て古くからの洩れ。ロッカーシャフトが折損。 ・科捜研が7/27車体から降ろしたエンジンを再見分した。 ・ロッカーシャフトの締め付けボルト1本が折損。これによりロッカーシャフトが折損。カムフレーム取り付けボルトのトルク低下、ロッカーカムとボルト干渉の順でカムフレーム周りに隙間ができオイル漏れが発生し、排気マニホールドに付着、発火したものと推定。	なし	関連性不明	スターターキースイッチリコール対象 (2002年4月 措置済)
7/21日9時	北海道登別市 豊浦町 国道36号線	FP415DR 90年4月登録	済	走行中、異臭とキャブバック付近から煙が上がった。トレーに積載の古紙に延焼し、全焼。 ・クラッチハウジング、トランスミッションケースに亀裂はなし。 ・焼損はキャブ後部のみでエンジンは燃えていない。エンジン後部ターボチャージャー出口吸気パイプが溶損。 当該部付近に配策されているゴム製燃料ホース(定期交換部品)が焼損紛失していることから、何らかの原因で、ホースから洩れた燃料がターボチャージャーの熱で着火、延焼したものと推定。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2004年6月 措置済) クラッチハウジングリコール対象 (2004年6月 措置済)
7/25日9時	鳥取県安来市 山陰自動車道 安来IC付近	MS821P 94年6月登録	済	走行中、左後輪タイヤ付近から発火。内側タイヤの車内側面が焼損している。 ・ブレーキが引きずった形跡あり。タイヤが焼損、ハーストしている。	なし	関連性不明	フロントハブリコール対象 (2004年7月 措置済)
7/28日4時	福岡県北九州市 都市高速4号線 紫川IC付近	FV514H 98年2月登録	済	トランスミッションとデフ間のプロペラシャフトがデフ側で破損し脱落。 ・インタデフのコンパニオンフランチ締付けネジの根元破断し、プロペラシャフト脱落したと推定。 ・ネジの根元部の破損は谷部全周を起点とした疲労破損。 デフ側破損部のコンパニオンフランチのスプラインに生じたカガによりシャフトねじ切上り部に掠り過負荷がかかり折損に至ったと推定。	2名通院(8/下) 1人は首、肩の痛み。1人は腰痛、打撲で2名とも外傷無し。	47案件 (No.24) に該当	キャブ電源ハーネスリコール対象 (2000年8月 措置済) 緊急点検 未実施
7/29日5時	福島県会津坂下町 磐越自動車道 上り	FV411T 94年3月登録	済	トランスミッションとデフ間のプロペラシャフト3本が脱落。 ・フライホイールハウジングが亀裂。クラッチハウジングを結合する取り付けボルト6本が脱落、6本緩みあり。 ・クラッチハウジングとの接合面に採まれ跡があり、ボルトの弛みによる破損と推定。 ボルト締め付け力の不足の原因としては、クラッチディスク交換時等のボルト締め付け不十分が考えられる。	なし	関連性不明	フロントハブリコール対象 (2004年5月 措置済) クラッチハウジングリコール対象
7/29日18時	大阪府東大阪市 市道	MS821P 94年5月登録	済	走行中、右後輪付近から発煙、発火。乗客が消火器で消火。内側タイヤが焼損。 ・現車を調査した結果、タイヤがハースト、焼損しており、後輪ブレーキが引きずった形跡がある。 但し、再現試験でもブレーキ引きずりは再現せず、戻りも良好。チャンパも異常なし。	なし	関連性不明	フロントハブリコール対象 (2004年6月 措置済)
7/31日朝	秋田県横手市	FV511TZ 98年3月登録	済	タンデム間プロペラシャフトが脱落。車両横転し、ドライバが怪我をして病院に搬送。 ・積荷は産業廃棄物で36%過積載、高荷状態であり、旋回時ロールし易く、車速超過による操作ミスで横転と推定。 ・横転による2次不具合として、プロペラシャフトが損傷したものと推定。第一報ではプロペラシャフト脱落との情報であったが脱落していないことを調査時確認した。 ・警察は人身事故扱いとせず、ドライバは病院で検査をおこなったが、通院はなし。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	キャブ電源ハーネスリコール対象 (2000年9月 措置済)
7/31日14時	大分県中津市	FS419TZ 94年3月登録	済	走行中にエンジンが急に噴き上がり、路肩に停車させ、キャブフィル、噴射ホップのアクセルワイヤを引くもエンジン停止せず。その間マフラー過熱し、マフラー廻りから出火しタイヤ、バッテリー、タンクなどを焼損。 ・噴射ホップの分解調査実施。コントロールラックがカムナ側1気筒目の溝部底を起点として疲労破損している。 コントロールラックの折損により噴射ホップが制御不能となりエンジンが吹き上がったものと推定。	なし	47案件 (No.32) に該当	フロントハブリコール対象 (2004年6月 暫定点検済み) タンデムプロペラシャフトリコール対象 プロペラシャフトリコール対象 (プロペラシャフトはいずれも未実施) 緊急点検 未実施
8/1日19時	富山県入善町 国道8号線	FU510UZ 99年9月登録	済	走行中、異音が生じたため路肩に停車したところ左前輪から出火していた。その後運転席部分などを焼いて鎮火。 ・左前輪アウターハウジングが破損し、ブレーキひきずり発火したものと推定。 ・フロントハブハウジングおよび関連部品を調査中。	なし	関連性については 精査中(警察調査結果待ち)	キャブ電源ハーネスリコール対象 (2000年8月 措置済)
8/8日20時	鳥取県松江市 国道9号線	MS821P 94年6月登録	済	7月25日タイヤ焼損した車両に対し、ブレーキ関連部品を新品に交換した。しかし再度左後輪がひきずり発煙した。 ・現車の左後輪にライニング焼けを確認した。定置では今回もブレーキひきずりを再現できず。チャンパも異常なし。 ・新品部品に交換したが再発したため、車両引取り、7/29発生の大阪の車両とともに実車再現試験を実施。 1台(大阪)の車両で走行時マフラーの引きずりを再現。ブレーキのエアラインに残圧が発生。もう1台(松江)の車両は、実走行では再現せず。ただし、2台とも定置でブレーキ配管系を加熱すると残圧が発生することを確認。 ・原因はブレーキ系エアラインのバルブ排気不良と推定。バルブ構成部品の詳細調査を継続。	なし	関連性不明	フロントハブリコール対象 (2004年7月 措置済)
8/11日14時	長崎県佐世保市 西九州道 大塔IC出口市道	FP445D 94年9月登録	済	車両全焼。トレー一部焼損。詳細は不明。 ・キャブ後部の焼損が激しく、原因については県警調査中。	なし	関連性については 精査中(警察調査結果待ち)	フロントハブリコール対象 (2004年4月 措置済) クラッチハウジングリコール対象

発生日時	場所	車両	スクランブル	事故内容及び調査概要	人身	47項目のリコール等 不具合内容との関連性	過去の該当リコール案件
8/26日3時	広島県東広島市 山陽道下り 西条IC手前	FU54JUZ 03年9月登録	済	後前軸(駆動軸)左内側タイヤの内側付近から出火。車載の消火器で消火。 駆動軸Vロッド上部のボールジョイント抜けが発生している。駆動軸が右へずれている。 ・後前軸(駆動軸)左側のショックアブソーバーの表面に亀裂あり、作動油が洩れてほとんど残っていない。 ・駆動軸のVロッドのボールジョイントが抜け出して、車軸の左右方向の拘束がなくなっている。 ショックアブソーバーの亀裂はブレーキドラム及びタイヤホイールと干渉したためと推定。	なし	リコール1234に該当 (9月22日届出)	該当なし
9/9日16時	徳島県板野町 高松道上り	FV415J 84年10月登録	済	プロペラシャフトが外れて走行不能になった。2次的被害なし。クラッチハウジングに亀裂なし。トランスミッション・メインシャフトが折損、 エクステンションハウジングが破断し脱落。ドレナフラグが脱落。 ・トランスミッション・エクステンションハウジング側のドレナフラグが脱落し、内部にオイルは残っていない。 ・オイル不足によりエアリング等に焼き付きが発生しキャパがロック状態となり、メインシャフト破断 エクステンションハウジング破断 プロペラシャフト振られ、プロペラシャフトのトランスミッション側ジョイント部破損 部品脱落に至ったものと推定。 ・事故現場付近の路面にはオイルの痕は見られなかったとのことなので、事故直前に抜けたのではなくもっと前から なかったと思われる。	なし	当社調査結果から関連性 は認められません。	フロントハブリコール対象 クラッチハウジングリコール対象
9/10日18時	群馬県松井田町 上信越道下り	FS510VZ 98年6月登録	済	走行中エンジン付近から異音発生。路肩に寄せたところインストして停車。その後出火し全焼。 ・エンジン左側7ロックより第4気筒目のコンロッドが飛び出し穴があいている。エンジンオイルの残量なし。破損し高温になっ たエンジン内部の金属片によりオイルが発火しエンジンロックにあいた穴から噴出、延焼したものと推定。	なし	当社調査結果から関連性 は認められません。	シャシー-ネスリコール対象 (2000年9月 措置済) クランクプロペラシャフトリコール対象 (2003年7月 措置済) リアプロペラシャフトリコール対象 (2003年9月 措置済) キャブ電源ハーネスリコール対象
9/11日14時	神奈川県川崎市 国道409号線	FN622K 98年12月登録	済	4台(当該車両を含む)の玉突き事故。運転手がブレーキが効かなかったと証言。 ・ブレーキ系配管からのエア漏れ、ブレーキ液漏れなし。ブレーキ低圧警報アザー機能は正常。 制動力をテスターで計測したが検査基準には合格。 ・警察が捜査継続中。	あり 4台中2台(2名) 1名鞭打ちで 通院中 他1名は通院1回	関連性については 精査中(警察調査結果待ち)	キャブフック曲がり不具合リコール対象 キャブチャイルド警告灯不具合改善対策対象
9/14日3時	鳥根県益田市 国道191号線	FU510UZ 97年7月登録	済	走行中異臭がして、しばらくすると灯火系が消えたため停車した。下車して確認したところ左側ヘッドライトとフロント ハブナーの間の奥に炎が見えた。キャブ全焼。 ・最初に炎が確認された部位の近くで回収した配線にショート痕あり。配線を調査した結果、 後付け配線である可能性が高いが、出火がショートによるものかの判定は困難。	なし	関連性不明	シャシー-ネスリコール対象 (2000年9月 措置済) キャブ電源ハーネスリコール対象
9/22日12時	静岡県岡部町 国道1号線	FV419J 90年10月登録	済	走行中異音がし、バックミラーで落下物を確認。そのままブレーキが効かなくなり惰性で走行し上り傾斜の場所で停止。 惰性で後退時に左後輪を縁石に当てて停車。 ・駐車ブレーキドラム、プロペラシャフトが別々に脱落。クラッチハウジングが全周亀裂。右フレーム内側エアハイブ三本破損。 ・プロペラシャフト前側ユニバーサルジョイントのフランジヨークのリーナホルトが疲労破壊していることからホルトが折損、その結果スライ ダー部に偏芯が発生しプロペラシャフトの振れが増大しクラッチハウジングが疲労破壊したと推定。	なし	当社調査結果から関連性 は認められません。	フロントハブリコール対象 (2004年5月 措置済) クラッチハウジングリコール対象 (2004年7月 措置済)
9/23日6時	兵庫県西宮市 市道	FP415D 94年1月登録	済	走行中エンジン付近から煙が出たので車両を止めて避難した。その後車両は全焼。 駐車場でエンジンを始動させた時に異音に気付いたがそのまま出発し約100m走行した所で発煙。 ・車両右前方のキャブ下側のハーネス付近の焼損が激しく出火場所と考えられるが、ハーネスにショート痕なし。 ・警察が捜査継続中。	なし	関連性不明	フロントハブリコール対象 クラッチハウジングリコール対象 (2004年8月 措置済)
9/27日18時	和歌山県和歌山市 駐車場内	FE507B 95年11月登録	済	駐車場に車両を停車後、異臭がしたので確認するとエンジン下部から火が出ていた。 ・スター内部が破損。連続通電による過熱でスター回りの一部が燃えたかと推定。 ・キースイッチの作動は問題なし。配線状況も干渉なく問題なし。スターは回収し調査予定。	なし	関連性不明	スター-キースイッチリコール対象 (2002年11月 措置済) キャブハーネス、ワイパーリンク干渉リコール対象
10/1日4時	愛知県岡崎市 国道1号線	FU510UZ 99年10月登録	済	走行中異臭がした後、サイドコントロールボックス付近から煙がでた。キャブ全焼。 ・センターコントロールボックスのスイッチの一部が改造された形跡がある。その配線はねじり接続されており、一部に弛みあり。 この部分で発熱、発火したと推定する。	なし	当社調査結果から関連性 は認められません。	シャシー-ネスリコール対象 (2000年8月 措置済) キャブ電源ハーネスリコール対象 リヤリアスプリングのハンガーブラケット からの脱落リコール対象
10/6日6時	大阪市北区 国道2号線	MP717K 98年10月登録	済	走行中車両前方に乗用車が進入してきたため急ブレーキをかけたところ、そのはずみで車両右側後方の非常口横の シートが前に倒れた。倒れたシートに着席していた乗客とその後ろの席の乗客が負傷した。 大阪府警が車両保管中であり破損部位の詳細状況は確認できず。 ・警察捜査中。	あり 1名打撲 通院加 療5日 他1名はそのま ま帰宅	47案件(No.47)に該当 リコール1229(9月22日届出)	燃料タンクリコール対象 (2000年9月 措置済) 非常口扉シートリコール対象 緊急点検:8月25日実施
10/14日14時	広島市西区 草津漁港浮桟橋	FK417J 89年1月登録	済	岸壁と浮き桟橋とを結ぶ渡し橋の上に止めてあった車両が後退し、車両後方で橋の修理作業中の2名を巻き込んで 浮き桟橋の上で止まった。 ・警察捜査中。	あり 1名死亡 1名全身打撲	関連性については 精査中(警察調査結果待ち)	キャブチャイルド警告灯不具合改善対策対象

発生日時	場所	車両	スクランプル	事故内容及び調査概要	人身	47項目のリコール等 不具合内容との関連性	過去の該当リコール案件
10/5日19時	岐阜県中津川市 中央道下り	FP512D 99年5月登録	済	約5%の下り勾配のS字カーブの後半の左カーブで、中央分離帯をまたいだ状態でキャブ左側を下にして横転、炎上。 トラック全焼、トレーは前方が焼損。 警察捜査中。	あり ドライバ-重傷 後続車2台が追突、各運転手が重軽傷	関連性不明	シャシ-ネスリコール対象 (2000年7月 措置済) キャブ電源ハーネスリコール対象
10/19日12時	静岡県浜松市 東名高速上り 三ヶ日IC ~ 浜松西IC	FY50JTY 01年3月登録	予定 10/27日	走行中フロントとリアデフ間のプロペラシャフトが脱落し、後続の軽自動車に落下した部品を乗り越え左前タイヤがパンクした。	なし	47案件 (No.2) に該当する可能性あり	6M70タービンシャフトリコール対象 (2001年3月 措置済) 6M70VGターボリコール対象 タンデムプロペラシャフトリコール対象 (2003年3月 措置済) リアプロペラシャフトリコール対象 (2004年3月 措置済) キャブ電源ハーネスリコール対象 フロントハブベアリングリコール対象 エンジンハーネスリコール対象 エンジンヤマウントリコール対象 タンデムプロペラシャフト再リコール対象 緊急点検:未実施

2004.10.27

47 案件まとめについて

- ・ 生産期間：1974 年 7 月 ~ 2004 年 9 月
- ・ 登録台数（重複なし）：約 91 万 7 千台
- ・ 生産台数（重複なし）：約 143 万台
- ・ 延べ登録台数：1,508,902 台 (No.37 はNo.31 の内数のため)
- ・ 延べ生産台数：2,105,227 台 (No.37 はNo.31 の内数のため)

- ・ 対象車種：大・中・小型トラック・バス 計 9 車種
(スーパーグレート(ザ・グレート)、ファイター、キャンター、
エアロクィーン、エアロバス、エアロキング、エアロスター、
エアロミディ、ローザ)
- ・ 延べ型式数：4,265 型式
- ・ 物損事故件数：届出時 40 件 届出以降 1 件 計 41 件
(No.13 の物損は No.14 の物損と同一のため)
- ・ 人身事故件数：届出時 17 件 届出以降 16 件 計 33 件
- ・ 負傷者数：届出時 20 名(内死亡 1 名)
届出以降 30 名 計 50 名
- ・ 火災件数：届出時 88 件 届出以降 2 件 計 90 件

以 上

2004.10.27

資料5

緊急性の高い案件

No (届出No)	件名	生産台数(台)	登録台 数(台) *1	届出時集計			届出~'04/10/22			合計			現時点('04.10.23)			市場措置予定			
				不具 合件 数	人身	物損	火災	人身	物損	火災	人身	物損	火災	緊急点検 実施率	暫定措置 実施率	恒久措置 実施率	12月末 実施率	恒久対策 90%日程	
1 (1092)	クラッチハウジング破損	168,002	71,876	67	3	15	3	1*2	0	0	4*2	15	3	-	96.0%	0.3%	25%	05/5/未	
2 (1257)	大型トラックプロペラシャフト脱落	15,925	14,333	30	0	6	0	0	1	0	0	7	0	39.0%	24.3%	0.0%	35%	05/3/未	
3 (1111)	バス プロペラシャフト破損	266	264	9	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0.0%	4.5%	47.0%	90%	04/12/未	
11 (1290)	フロント独懸用アームシャフト亀裂	10,011	7,089	59	0	1	0	0	0	0	0	1	0	-	-	-	25%	05/4/中	
17 (1228) (46と統一)	非常ドアの開放	3,666	3,590	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61.5%	-	0.1%	60%	05/1/未	
23 (1168)	ハイドロリックブースタへのエアの混入	9,018	8,817	36	2	2	0	2	0	0	4	2	0	17.0%	30.3%	13.7%	80%	05/1/未	
24 (1265)	プロペラシャフト脱落	2,821	2,415	13	1	1	0	0	0	0	1	1	0	29.0%	0.0%	0.0%	50%	05/2/中	
43 (1261)	T-ドライブシステム脱落	3,797	3,263	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41.3%	0.0%	0.0%	10%	05/4/未	
46 (1228) (17と統一)	荷物扉開放	1,077	1,050	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55.8%	-	0.0%	60%	05/1/未	
47 (1229)	急ブレーキ時の非常扉シート倒れ	51,943	28,241	7	5	0	0	13*3	0	0	18*3	0	0	55.6%	-	30.8%	100%	04/11/未	
				11	27	3	16	1	0	27	28	3							

47案件以外

(1056) (1076) (1204)	大型車フロントハブ不具合	220,024	104,105	57	2	50	0	0	0	0	2	50	0	-	19.2%	55.3%	*4 70%	05/2/中
----------------------------	--------------	---------	---------	----	---	----	---	---	---	---	---	----	---	---	-------	-------	-----------	--------

*1:届出時の台数

*2:拡大調査により判明した1件を追加
*3:届出後に判明した新たな不具合を含む

*4:ABハブのB改善を含んだもの

その他の案件

No (届出No)	件名	生産台数(台)	登録台 数(台) *1	届出時集計			届出~'04/10/22			合計			現時点('04.10.23)				
				不具 合件 数	人身	物損	火災	人身	物損	火災	人身	物損	火災	緊急点検 実施率	暫定措置 実施率	恒久措置 実施率	
4 (1259)	駐車ブレーキスプリング破損	2,917	2,888	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63.4%	-	0.0%
5 (1287)	フロントサスペンションボールジョイント摩 耗	106,832	95,961	75	0	2	0	0	0	0	0	2	0	-	-	-	
6 (1286)	タイロッドエンドボールジョイント摩耗	258,415	216,668	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	
7 (1083)	燃料タンクブラケット破損	418	390	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	74.1%	
8 (1258)	駐車ブレーキケーブル破損	367,697	332,178	16	2	1	0	0	0	0	2	1	0	32.1%	-	0.0%	
9 (1176)	パワーステアリングサーキュレータ破損	15,227	12,418	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14.7%	27.9%	0.2%	
10 (1208)	デッドアクスルハブベアリング焼付き	31,255	18,177	28	0	0	14	0	0	0	0	0	14	精査中	55.1%	0%	
12 (1277)	T/M ニードルベアリング不具合	7,719	7,605	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29.2%	0.0%	0.0%	
14 (1209)	キャブフックかかり不良	91,524	75,693	25	1	1	0	0	0	0	1	1	0	34.7%	27.1%	0.1%	
15 (1237)	リヤリーフスプリングのハンガーブラケッ トからの脱落	14,347	13,735	6	1	1	0	0	0	0	1	1	0	52.8%	-	0.1%	
16 (2189)	リヤアクスルチューブ破損	21,062	13,682	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	
18 (1230)	ABS/EZGO ハイドロリックユニット不具合	3,283	3,148	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	精査中	-	0.5%	
19 (1166)	スプリングブレーキエアチャンバーブラ ケット破損	108	107	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47.7%	40.2%	14.0%	

No (届出No)	件名	生産台数(台)	登録台 数(台) *1	届出時集計				届出~'04/10/22			合計			現時点('04.10.23)		
				不具 合件 数	人身	物損	火災	人身	物損	火災	人身	物損	火災	緊急点検 実施率	暫定措置 実施率	恒久措置 実施率
20 (1167)	スプリングブレーキチャンバーへの水侵入	1,760	1,723	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20.0%	46.5%	4.8%
21 (1260)	ホイールパークウェッジ破損	2,915	2,886	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62.6%	-	0.0%
22 (1112)	ホイールパークウェッジ破損	552	548	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45.3%	39.8%	20.4%
25 (1262)	チェーントランスファオイル洩れ	2,094	1,906	10	0	0	6	0	0	0	0	0	6	50.3%	0.0%	0.0%
26 (1222)	フライホイールリングギアの磨耗と破損	2,052	2,052	82	0	0	2	0	0	0	0	0	2	40.9%	-	4.5%
27 (1221)	フロントハブベアリングへの水侵入	35,395	34,840	91	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35.2%	31.6%	0.1%
28 (1236)	フロントハブベアリング焼き付き	56,229	53,183	57	0	1	9	0	0	1	0	1	10	精査中	-	2.2%
29 (1235)	フロントハブベアリング焼き付き	33,990	32,177	19	0	0	1	0	0	1	0	0	2	精査中	-	4.8%
30 (29の副次的 扱い)	ハブ破損(ベアリング破損による)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31 (1224) (37と統一)	A/T オイルホース破損	1,771	1,456	7	0	0	1	0	0	0	0	0	1	23.2%	22.1%	0.0%
32 (1241)	インジェクションポンプブラックの破損	5,160	4,854	58	0	0	12	0	0	0	0	0	12	33.8%	-	0.0%
33 (1210)	キャブ電源ハーネスの損傷	53,717	52,009	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36.6%	41.0%	0.2%
34 (1254)	燃料パイプランプの脱落	75,596	73,980	59	0	0	35	0	0	0	0	0	35	19.5%	-	0.2%
35 (1223)	ターボエンジン用の箱型マフラーの亀裂	739	724	20	0	0	5	0	0	0	0	0	5	43.5%	36.3%	3.2%

No (届出No)	件名	生産台数(台)	登録台 数(台) *1	届出時集計			届出~'04/10/22			合計			現時点('04.10.23)			
				不具 合件 数	人身	物損	火災	人身	物損	火災	人身	物損	火災	緊急点検 実施率	暫定措置 実施率	恒久措置 実施率
36 (1238)	エンジンリヤマウント破損	28,651	28,325	87	0	1	0	0	0	0	0	1	0	11.8%	0.8%	0.2%
37 (1224) (31と統一)	A/T油温上昇	967	788	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40.4%	22.1%	0.0%
38 (1266)	アクスルシャフト破損	3,035	1,440	4	1	0	0	0	0	0	1	0	0	65.4%	-	0.0%
39 (1278)	ナックルアーム破損	254,252	58,284	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	精査中	6.2%	0.0%
40 (1198)	キャブハーネス不具合によるスタータ破 損	36,787	31,409	13	0	1	0	0	0	0	0	1	0	12.9%	-	22.5%
41 (1242)	ナックルアームボールスタッド折損	34,837	16,561	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11.4%	8.0%	0.0%
42 (1276)	排気パイプ亀裂	3,026	2,926	103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65.7%	63.6%	0.0%
44 (1199)	T/M シフトワイヤ折損	8,171	7,929	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	精査中	27.1%	18.3%

5 8 85 0 0 2 5 8 87

*1:届出時の台数

改善対策一覧

13 (261)	キャブチルト警告灯不良	246,852	142,425	3	1 *2	1	0	0	0	0	1	1 *2	0	17.4%	19.1%	0.2%
-------------	-------------	---------	---------	---	---------	---	---	---	---	---	---	---------	---	-------	-------	------

サービスキャンペーン

*2:No.14(1209)と同一の物損

45	AT車駐車時の注意喚起	30,316	23,677	5	0	5	0	0	0	0	0	5	0	-	-	-
----	-------------	--------	--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

リコール届出後の事故詳細

2004.10.27

No.2(1257) 大型トラックプロペラシャフト脱落(物損)

	型式	架装	不具合発生年月日	登録年月日	走行距離 [km]	積載物	発生時の状況	ドライバー 性別・年齢	発生場所
1	FS510VZ	ウイングバン	2004/10/11	1997/02	689,429	自動車部品 1.7トンを積載	首都高速湾岸線でタンデム間ペラ軸脱落、後続車4台がタイヤ・ホイール破損等の物損 後続の乗用車4台 タイヤ・ホイール各1本破損(4台中2台) 前輪左右タイヤ・ホイール破損(4台中1台) 左前後輪タイヤ・ホイール破損(4台中1台)	男性 25才	横浜市磯子区 首都高速湾岸線上り 53.8kp付近

No.23(1168) ハイドロリックブースタへのエアの混入(人身)

	型式	架装	不具合発生年月日	登録年月日	走行距離 [km]	積載物	発生時の状況	負傷人数	性別	年齢	受傷部位	受傷程度	発生場所
1	FE83EEY	平ボデー	2004/06/29	2002/10/18	130,440	空	前車の信号停止に続いてブレーキを踏んだが、5mほど車がすべり、前方の車両に追突、さらに前の車両にも玉突き衝突した。販社で確認した結果エアの混入は認められなかった。	3	(3名とも) 男性	不明	(3名とも) 首	(3名とも) 軽いむちうち	東京都江戸川区篠崎町
2	FE83DGY	バン	2004/07/30	2002/11/29	88,467	不明	前車が急停車したのでブレーキを踏んだが、ブレーキ効き不良のため脇によけた際、後方から来たバイクに衝突した。販社で確認した結果エアの混入は認められなかった。	1	男性	不明	左足	擦り傷程度	千葉市中央区都町

No.28(1236) フロントハブベアリング焼付き(火災)

	型式	架装	不具合発生年月日	登録年月日	走行距離 [km]	積載物	発生時の状況	ドライバー 年齢・性別	発生場所
1	FS54JVZ	バン	2004/07/20	2002/09/28	494,000	粉	23時過ぎ、50～60km/hで走行中左側フロント2軸目が火災。ドライバーの話によると、走行中に他車ドライバーや通行人から指摘を受け、バックミラーを見たところ発煙に気がついた。片側1車線のためこのまま停車すると渋滞を起こすと思い、3～500mそのまま移動し広いところへ停車し消火しようとしたが、発火しそのまま燃えてしまった。左フロントフェンダ-周り焼損。	男性 46歳	埼玉県本庄市の国道17号線 付近

No.29(1235) フロントハブベアリング焼付き(火災)

	型式	架装	不具合発生年月日	登録年月日	走行距離 [km]	積載物	発生時の状況	ドライバー 年齢・性別	発生場所
1	FK61F2	バン	2004/10/09	2003/09/26	94,769	青果 約1t on	午前6:10頃、料金所を出てすぐに左フロントタイヤ(ドラムごと)がはずれ、車両がその上に乗り上げて傾いて停車、その後、車両が燃え出した。消火器12～13本使用したが消えず、消防車がきて鎮火した。左フロントフェンダ-周り焼損。	男性 50歳位	常磐道三郷料金所を出て10m ほど走行したところ